

教職員の生徒との接し方に関するルール

全国的に、教職員がＳＮＳなどを悪用して、生徒・児童とわいせつな行為に及んだ事例が大きく報道され、社会問題になっている。ＳＮＳやメールは、連絡等に便利である半面、やりとりが当事者以外に見られない仕組みのため、問題の媒体になり得る危険性を持っている。メディアの活用に際しては、教職員が一層高い倫理性を持つとともに、透明性の確保などに留意する必要がある。

また、部活動の顧問が運転する車やマイクロバスが事故を起こして、学校、県、当該教職員が大きな責任を負う事例が発生している。やむを得ず生徒を車に乗せる際は、学校として責任が取れるような、仕組みが必要である。

以上の趣旨をふまえ、生徒との接し方に関するルールを定める。

記

1. 生徒への連絡について

- ① クラスや部活のメンバーなどのグループに対して、連絡のために恒常的にＳＮＳやメールを利用する場合は、仕組みを立ち上げた際に管理職の許可を得るとともに、保護者にも知らせておくこと。
- ② 生徒個人に連絡をする場合は、なるべく、固定電話等、オープンな連絡手段をとること。
- ③ 他に適切な手段がなく、やむを得ず、ＳＮＳなどの閉じた連絡手段を利用して、個人に連絡をする際は、個人的な関係に発展するようなやりとりにならないように、注意すること。

2. 生徒との面談や相談等の実施方法について

- ① 生徒と面談や相談を実施する際は、ドアを開けておくなど、密室状態にならないよう配慮すること。
- ② 相談内容に秘密性を保つ必要があり、やむを得ず密室環境で面接や相談を行う場合は、事前または事後に、他の教職員に報告・相談を行い、一人で問題を抱え込まないようにすること。

3. 教職員の自動車への生徒の乗車について

- ① 部活動等の生徒の移動については、できる限り公共交通機関を利用すること。
- ② やむを得ない理由で、生徒を教職員の自動車に乗車させる場合は、事前に管理職の許可を得るとともに、安全運転に徹すること。
- ③ 部活動等の生徒の移動に際して、安易に保護者に自動車での送迎を依頼しないこと。

4. 生徒や保護者への啓発について

以下の点について、生徒や保護者に啓発すること。

- ① 教職員から不適切な関係を迫られたり、セクハラに該当するような行為を受けた場合は、必ず親や教職員に相談すること。
- ② 教職員とＳＮＳ等でやりとりをする場合は、節度をわきまえること。
- ③ 教職員の車には、特別の事情がない限り、乗車できないこと。

以上